

京都大学原子炉実験所 「学術公開」施設見学に参加



京都大学 原子炉実験所

東日本大震災の復興に、福島第1原発の爆発が大きな足かせとなっています。原発に安全などという神話はなかったことが証明されました。京都大学原子炉実験所において「学術公開」が開催されました。私たちは、少しでも専門的な知識を得るために今回の施設見学会に参加しました。

放射線に安全な基準値はない

京都大学原子炉実験所は、原子力科学に対する全国大学等の共同利用研究所として、研究用原子炉等を用いて理学、農学、工学、医学など多方面にわたって研究を行っている施設です。見学終了後に当実験所に所属されている助教との質疑のなかで、「原発の100%安全などあり得ない」「人間が作るものに完全なもの等ない」「完全でない以上こんな危険なものはない」放射線被曝に対し、「被曝を受けないことにこした事はない、被曝量に安全値などない」と話されました。最後に、「人間がこれまで甘受してきたものの付けがあまりにも大きい、ここで一旦立ち止まり考えを変えなくては、孫子の代まで私たちの代償を負わせ事になる」と熱く語られ見学会を終えました。



研究用原子炉